

2 018年、長野県的美ヶ原トレイルランの感謝祭としてスタートした「ラン&ビア」がわくファミリーキャンプ。ストイックに挑むのはもちろん、ゆるりと参戦するものもウェルカムな5時間耐久リレーをメインに、高橋ちかさんやケルト音楽のライブ、アウトドアフィルム上映会、ヨガ体験会など、プログラマーも楽しめるコンテンツがぎっしり詰まっている。3年ぶりに開催された進化したラン&マッキーも楽しんだら、マッキー

ゆうじん…何より天気に恵まれました。雨予報なのに、晴れ間も出ていましたからね。マッキー…ミラクルでしたね。ゆうじん…過去5年で2回中止が続いて、今回が実質3回目。数字的には第2回の参加者数と同程度でしたが、今回はヨーロッパ・アウトドア・フィルム・ツアーの上映会をはじめ全体的にコンテンツの質が上がり、昔が心から喜び楽しんでいるなと思える姿をたくさん見たい。

Yujin Tanaka 田中ゆうじん

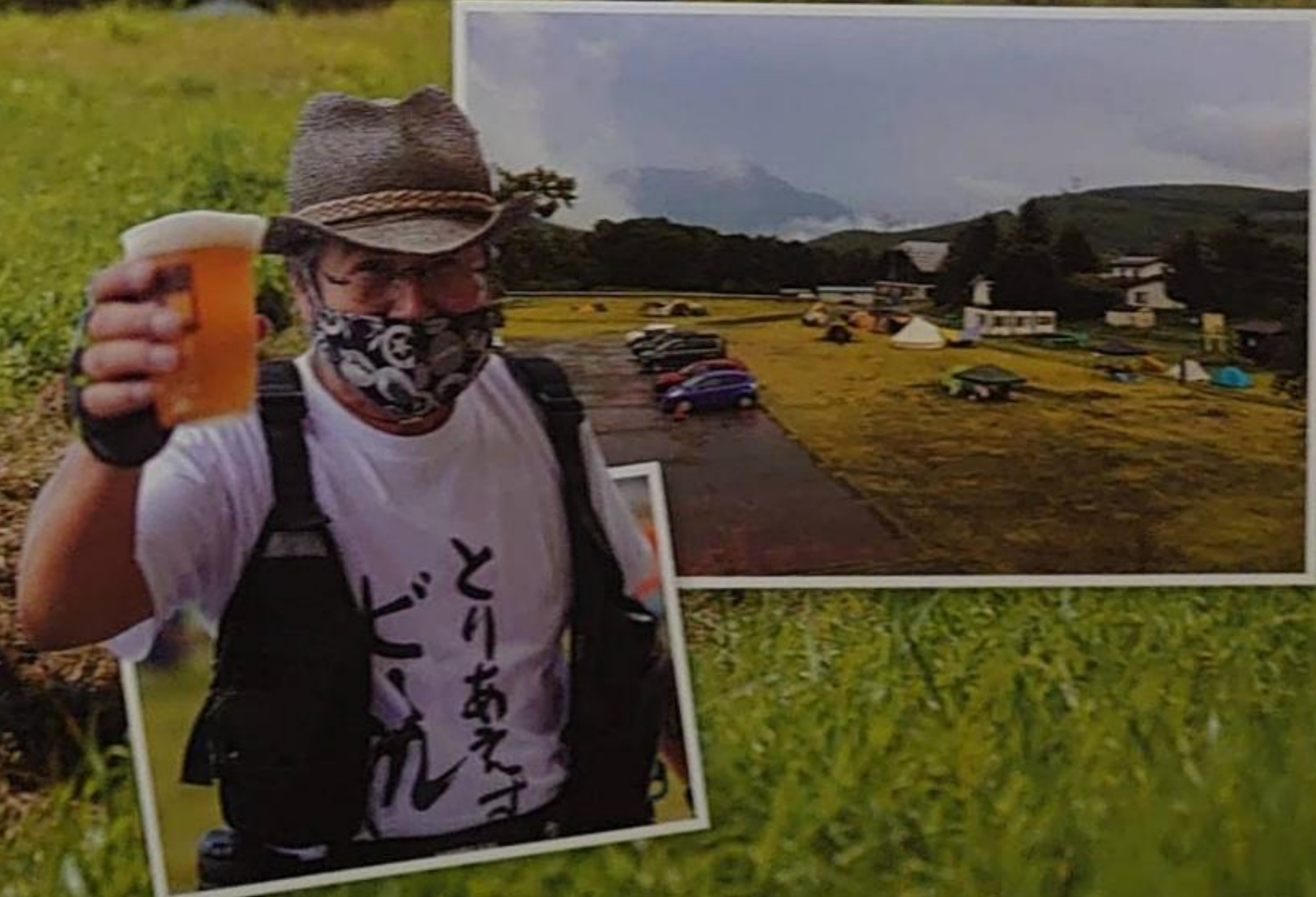
McKee マッキー

長野県地域発元気づくり支援金活用事業

全力で楽しむ  
主催者たちの姿も  
見せていきたい。

主催者ふたりがアツアツの  
2日間を振り返る

RUN+TRAIL =文/写真 小林亮介=写真  
Text & Photographs by RUN+TRAIL Photographs by Ryosuke Kobayashi





マツキー…今回初めて携わって  
みて思ったのが、想像以上に会  
場に一体感があったことですね。  
リレーをやっている時、チーム  
の仲間や走らない家族はどう過  
ごしているのか？ 想像がつか  
なかったけれど、フタを開けて  
みたらそれぞれ楽しんでいて、  
良い意味で運営陣も、参加者も  
一緒くた。一体になっている空  
気感が心地よかったです。

——マツキーさんが入った今年、  
以前とどこが変わったとゆうじ  
んさんは感じましたか？  
ゆうじん…「ラン&ピアナがわ」  
という大会名に「ファミリキー  
キャンプ」が追加されたように、  
やはり女性らしい視点がありが  
たいですね。それまでも、子  
供を含めファミリー全員が楽し  
めるイベントを目指してはいた  
のですが、どうしても大人のリ  
レーイベントというイメージが  
先行していました。マツキーが  
入ってくれたことで、ファミリ  
ー向けコンテンツを強化でき、  
以前よりも来場者全員が楽しめ  
る会場になりました。

マツキー…リレーに参加して大  
人顔負けの全力疾走を見せたな  
と思ったら、今度は温泉プール  
で盛り上がったたり、子供たち  
にとっても息苦しさはなかったよ  
うで安心しました。

ゆうじん…前回まで使わせても

らっていたエコーバレースキー  
場から、今年は会場をプランシ  
ユたかやまスキー場に移しまし  
た。それもイベントの幅が広が  
った要素となりました。

マツキー…支配人である林さん  
の人柄の良さもイベントの雰囲気  
にマッチしてましたね。

ゆうじん…そう、主催者や裏方  
がピリピリしていると、その雰  
囲気が出てしまったりするんで  
すよね。ラン&ピアナは主催者も  
参加者も垣根なく100%楽し  
んでいるので、それが良い雰囲気  
をつくり上げていく感じがしま  
す。ただ、次回への改善点はた  
くさんありますよ。例えばフー  
ドブースの数。参加人数が増え  
ないとどうしようもないですが、  
一緒にイベントを育てていくこ





「ふあすらいプロジェクト」という名前で山の魅力を発信している、ゆうじんさん(左)とマッキーさん(右)。RUN&BEER開催もその一環であり、今回で3回目を迎えた(初開催は2018年)。

とに賛同してくれる地元の飲食店などが増えてくれるとうれしいですね。

マッキー…リレーに参加していない家族が気軽に参加できるコンテンツも、もっと増やしたいですね。会場の子供を集めてジャンケン大会をやった時、リレーに出ていないけど参加していいの？」と聞かれることが多かったように、リレー参加ありきのイベントというイメージがまだ払拭できていません。

ゆうじん…リレーに参加して帰る人もいましたが、自然とリレー後の「アフター」のコンテンツ

ツまで楽しんでくれるような流れをつくりたいですね。

マッキー…ケルト音楽の演奏が始まると、手をつないで輪をつくってダンスをしてくれる人もいました。あの輪をもっともつと広げたいですね。

ゆうじん…そうですね。演奏していた生徒たちもあの盛り上がりでテンションが上がったと言っていました。輪を少しずつ広げていって、楽しさを伝播していきたいですね。

——新しいコースの評判はいかがでしたか？

ゆうじん…良い意味でラン&ピアっぽさは引き継いだコースだと思っっています。ゲレンデを登って下ってというレイアウトで、できるだけ走っている選手の間が張りが見えている時間が長いというコンセプトはそのまま。ただ、中盤に雰囲気の良い森の中を抜けていくトレイルがあって、気を抜けたり、以前のエコーパレースキー場より急斜面が少ないのでラップタイムも少し早くなっていると思います。

マッキー…私も1周走りましたが、正直きつかったです。

ゆうじん…初心者でも、女性や子供だけでも安心して走れる一方、走力がある人は全部走れるからきついついていう、バランス

の良いコースレイアウトに仕上がったと思います。

——リレー以外のコンテンツはいかがでしたか？

ゆうじん…じっくり腰を据えて観賞できる良いコンテンツでした。ただ、ヨーロッパ・アウトドア・フィルム・ツアーを上映するのが初めてだったのもあり、字幕が小さかった。アウトドアやウォークのイメージがそこまでだったとか、細かい省点はたくさんあります。

マッキー…長かったという意見もありましたね。

ゆうじん…そう、2時間ありま



## Run & Beer Nagawa



したからね。いつか実現できた  
らと思ってるのが、フィルム  
をすべて国産にすること。見て  
いてドキドキするエクストリー  
ムな挑戦を追いかけたドキュメ  
ンタリーが何本か揃って、クリ  
エーターたちにとってもちょっ  
ぱり憧れる発表の舞台にでき  
た最高だなんて。翌朝のヨガは  
どうでしたか？

マッキー…朝の清々しさにゲレ  
ンデの開放感が加わって、ヨガ  
にびったりの雰囲気でした。皆  
で楽しめるメニューが入ってい  
たのも良かったです。  
ゆうじん…入口はリレーだけど、  
中に入ってみると皆でワイワイ  
もできるし、個別にしっかりと楽  
しむこともできる、そんな多様  
性に応えられるのがラン&ビア

の良さかな。僕ら主催者はさま  
ざまな層が楽しめるコンテンツ  
を考えるんだけど、参加する側  
はその中から興味があるものを  
選んで、自分なりの楽しみ方を  
して過ごしてもらえればオーケ  
ーなんです。  
マッキー…そういうゆるさが魅  
力ですよ。あとは家族で来て  
いるのに主役はパパだけ、ママ

だけじゃないよっていうのをも  
っと打ち出したいですね。ラン  
&ビア会場の主役は、来た人全  
員！ それを実現するためには、  
まだまだコンテンツを増やして  
いかないといけません。  
ゆうじん…パパのレースについ  
て行ったら退屈だった、もう次  
は行かないってなると寂しいじ  
やないですか。「私たちも楽し

めちゃった。また家族で行こう  
ね！」と言ってもらえるイベン  
トを目指したいですね。  
マッキー…はい。クラフトビー  
ルを飲み比べできたり、地元  
の名物が食べられるというだけ  
も参加する動機、滞在する動機  
になりますからね。懐が深いイ  
ベントとして発展していければ  
いいなと思います。

「また家族で行こうね！」と言ってもらえるファミリーイベントを目指したい



1 リレー終了後、17時から高橋ちかさんのライブがスタート。2 その後に信州大学ケルト音楽研究会S-Celtsの生徒たちによる生演奏に合わせたダンスで会場はひとつに。3 暗くなってから上映会がスタート。最初に流れたのは2019年に滑落遭難死された西田由香里さんのメモリアル動画。旦那さんも菜場され、上映前にスピーチされた。その後、参加者は大迫力の映像「ヨーロッパ・アウトドア・フィルム・ツアー」をじっくり楽しんだ。4 翌朝には講師を迎えて無料のヨガ体験会も開催されるなど、充実の内容だった。